

今回のワーク

今回のワークショップでは、(1) 空間パターンや設計者の話をもとに、好きなキャンプ場を選ぶ
(2) 選んだキャンプ場を、利用や運営の視点で疑似体験し「望ましい姿」を検討する
(3) 参加者で話し合い、キャンプ場の「望ましい姿」をイメージするの作業を行いました。

1 空間パターンや設計者の話をもとに、好きなキャンプ場を選びました

- A: テントサイトだけのキャンプ場 0人
- B: キャンプサイトとBBQ施設があり食材提供も受けられるキャンプ場 8人
- C: テントなどキャンプ用品も借りられるキャンプ場 12人
- D: キャンプに関する技術指導も受けられるキャンプ場 3人
- E: イベントなども行われるキャンプ場 7人

2 選んだキャンプ場を、利用や運営の視点で疑似体験し「望ましい姿」を検討しました



Bキャンプ場

グループ名: 限りなくAグループ!
参加者: 中川、笹本、高木、河野、藤島、山本、田尻、布袋

Cキャンプ場 1

グループ名: どうも気軽なビール党
参加者: 小林、加賀見、三木、松川、勝井、谷

Cキャンプ場 2

グループ名: Cのグループ
参加者: 茂野、大石、大久保、植月、西川、甲谷

Dキャンプ場

グループ名: はんたま
参加者: 仁木、土佐、有内

Eキャンプ場

グループ名: ファイヤーグループ
参加者: 亀谷、山添、大平、竹田、谷口、河野、加賀見

- これが目玉だ!
 - ・自分の責任で自由に遊べる公園的なキャンプ場
- こんな利用できます
 - ・子供達
 - ・自由にキャンプ
 - ・誰でも自由に利用できる
 - ・体験学習
 - ・遊びの創造
 - ・地引網体験
 - ・夜でなければ見えないモノがある
 - ・オートキャンプ場は不要
- こんな施設やモノがあります
 - ・最低限の施設
 - ・火をたく所
 - ・飲み水の確保
 - ・トイレ
 - ・失われつつある自然
 - ・自然再生
 - ・メダカ
 - ・自然植生
 - ・海水に接している
 - ・芝生広場
 - ・キャンプサイト
 - ・監視カメラ
 - ・車の乗り入れの処理
 - ・明るさ
- こんな運営です
 - ・最低限の有料化
 - ・自主管理
 - ・人のコーディネート
 - ・自然体験指導員
 - ・動植物の選定
 - ・下水処理場と一緒に管理
 - ・人工海浜とのリンク
 - ・夜間パトロール



設計と運営をみんなで考えよう!

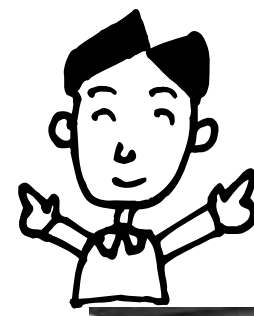
- これが目玉だ!
 - ・気軽な公園
 - ・ゆっくりして、遊んで、あっ泊まっちゃった
 - ・酒が飲めるぞ公園
- こんな利用できます
 - ・宿泊でも日帰りでも利用可能
 - ・イベントを見て、その後夜通し話ができる
 - ・バーベキュー(デイキャンプ)手ぶらでOK
 - ・釣りができる、歩いていける釣り場
 - ・ペットと共に利用できる
 - ・落葉樹など木陰でゆっくりお昼寝
 - ・課外学習、海、浜辺の利用
- こんな施設やモノがあります
 - ・全体の管理事務所
 - ・キャンプ用品一式(貸し出し)
 - ・バーベキューサイト(屋根付きも必要)
 - ・バーベキューの炊事場
 - ・ライダーズハウス
 - ・コテージ、ツリーハウス
 - ・シャワー施設
 - ・ビールサーバーのレンタル
 - ・コインランドリー
 - ・木立、落葉樹
 - ・ハンモック
 - ・釣り場へのアクセス道
 - ・ペットの糞の処理グッズの販売
- こんな運営です
 - ・管理人
 - ・宿泊の予約サービス
 - ・安全管理
 - ・宿泊施設の維持管理
 - ・運営のスタッフ組織
 - ・キャンプ場の“なんでも屋”
 - ・釣りエサ、釣り道具のレンタル
 - ・バーベキューのための食料、道具、飲み物の提供、サービス、施設
 - ・清掃人
 - ・芝生、樹木の管理
 - ・ゴミの有料処理サービス

- これが目玉だ!
 - ・いろんな利用者のタイプに対応できる
 - ・地元の人や文化、産業とうまくかかわれる
 - ・PRや優遇サービスなどに気を配った
 - ・公園全体(海岸も含む)で楽しめる
- こんな利用できます
 - ・シーズンによって利用者の使い分けができる
 - ・泊まれる・有料のほうがよい・レンタルできる
 - ・バーベキュー、海水浴、花火ができる
 - ・カヌー、ヨット、マリンスポーツができる
 - ・ウォーキング、散歩・芝生広場で遊べる
 - ・朝や夜に釣りができる・地引網ができる
 - ・テニスなどのスポーツができる
 - ・水遊びができる・風呂にいれる
 - ・自転車のレンタルがある
 - ・飛行機に関連するもの(歴史や施設の学習)
 - ・松茂の地域体験学習ができる
 - ・自然観察、生き物観察ができる
 - ・カヌー学習ができる
 - ・公園とキャンプ場の利用者の分離
- こんな施設やモノがあります
 - ・海、小川、せせらぎ、芝生広場、地域の植物
 - ・専用の管理棟、ゲート、囲い、レンタルショップ
 - ・手足を洗うところ・情報案内施設
 - ・バーベキューの食材販売所
 - ・ビーチパラソル、レンタル
 - ・シャワー、トイレ、海の家、コテージ
 - ・分離された歩道と車道、自転車道
 - ・飛行機のみえる散歩道
 - ・指導員、管理人(見回り)
- こんな運営です
 - ・花火、清掃、利用等のルールづくり
 - ・車から出る汚物の処理
 - ・バリアフリー(宿泊施設が)
 - ・プログラムや案内
 - ・農業者の協力・ボランティアガイド
 - ・大雨、津波に安全な警報、通報システム
 - ・火の管理
 - ・昼と夜の使い分け・夜のセキュリティ
 - ・お盆や正月の帰省客、県外客を優先
 - ・自衛隊がPRに協力
 - ・地元住民へのサービス、協調
 - ・広報やPRをする
 - ・阿波踊りツアーの拠点(レンタサイクルなど)

設計と運営をみんなで考えよう!

今回の目標は

「友人やペットと共に野外活動を楽しむことができる公園」の核となるキャンプ場の「望ましい姿」をみんなでイメージする



結果は

意見	タイプ	B	C1	C2	D	E
行ってみたいキャンプ場		7	7	6	4	5
運営してみたいキャンプ場		6	7	5	4	7

※Cキャンプ場を選ばれた人が多くいました

●アンケート

- ワークショップに参加してみて
- ・十分に意見が言えた 15名
 - ・少しは意見が言えた 9名
 - ・あまり意見が言えなかった 3名
 - ・その他 2名

- これが目玉だ!
 - ・イベント「質の高い」
 - ・財政基盤の確立
 - ・施設利用者が対価を支払う(受益者負担)
 - ・楽しい集まりの輪の広場
 - ・東向きの海岸「朝日が見える」
 - ・イベント料金
 - ・場所を使い分ける
 - ・農業、漁業の体験
 - ・宿泊もできる
- こんな利用できます
 - ・イベント(楽しく、心に残る)
 - ・団体で参加できる
 - ・花火ができる
 - ・キャンプファイヤーができる
 - ・雨でもできるキャンプファイヤー
 - ・24時間利用できる
 - ・夜間の利用を制限する
 - ・体験型農業(いも掘り)
 - ・漁業(地引き網)
 - ・月面広場を活用したイベント
 - ・タコ揚げができる
 - ・釣りができる
- こんな施設やモノがあります
 - ・オートキャンプ
 - ・開閉可能な屋根のあるキャンプファイヤー場
 - ・コテージ
 - ・キャンプ道具のレンタル場(有料)
 - ・シャワー室
 - ・トイレ
 - ・レンタサイクル
 - ・コンビニ(店)
 - ・排水設備
 - ・キャンプ場の料金所(駐車場は無料)
 - ・有料の駐車場
 - ・遊水池の管理棟
- こんな運営です
 - ・宿泊施設の運営係
 - ・管理者
 - ・バス(シャトルバス)の利用
 - ・イベントを主催する団体
 - ・NPO法人
 - ・夜のマナー、ルール
 - ・排水管理(水管理)

